

事務事業名		99992	配水管及び施設の整備	予算科目	会計	水道課	水道課	担当班	工務班
施策体系	基本施策	19	安全・安心な水の供給	根拠法令	水道	款	項	目	事業種別
	施策の展開	36	上水道の安定供給	戦略事業	176	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業
	施策の展開			戦略事業					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	配水管の計画的な布設及び老朽化した施設の改修・更新を行うことにより、水道施設の耐震化を進め災害に強い上水道を整備して行く。 1. 老朽化した配水管の更新を行い、漏水の防止を図るとともに耐震管に入替えることにより、災害に強い配水管を整備する。 2. 配水池の増設及び耐震化を行い、適正な容量の確保と施設の強靱化を図る。 3. 各配水場の配水設備等の修繕及び更新を行い、水道水の安定供給を確保する。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
水道事業の開始から35年以上が経過している。水道施設においては老朽化も進んでおり、2011年の東日本大震災では、配水管等の破損が多数発生した。このため、配水管や配水場設備等の水道施設の耐震化及び更新が必要となってきている。	・水道管の漏水が、年々増加傾向にある。 ・全ての配水管の耐震化には多大な費用と年月を要する。 ・配水池の一部が耐震化の基準を満たしていない。 ・配水場設備等の老朽化が今後更に進み、修繕費等の増加が懸念される。	・漏水の修繕時に断水作業が伴うため、利用者にも多大な迷惑をかけてしまう。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算) 単位:千円	
1. 工事請負費	20,601 配水管布設替(水管橋)、道路整備に伴う配水管切廻し
2. 修繕費	56,874 各施設設備の修繕等
3. 機械及び装置	4,730 各施設設備の更新等
② 特定財源の内訳(1年度の決算) 単位:千円	
1. 国庫支出金	
2. 都道府県支出金	
3. 地方債	
4. その他	12,667 工事・維持管理に係る負担金

事業費	費目内訳	1. 工事請負費	千円	355,436	71,631	18,000	20,601	18,216
		2. 修繕費	千円	45,981	27,091	22,714	56,874	37,722
		3. 機械及び装置	千円	9,720	49,140	41,418	4,730	52,624
	事業費計(A)		千円	411,137	147,862	82,132	82,205	108,562
	財源	1. 国庫支出金	千円	2,147	3,330			
2. 都道府県支出金		千円						
3. 地方債		千円	170,800	70,020			44,000	
4. その他		千円	170,800	23,300	4,713	12,667		
5. 一般財源(企業会計)		千円	67,390	51,212	77,419	69,538	64,562	

前年度増減理由	修繕費は水管橋の応急修繕等の大規模な修繕のため増加し、機械及び装置は大型の機器の更新がなかったため減少した。
---------	--

従事職員数 常時 2人 最大 6人 × 12日 = 延べ 72人

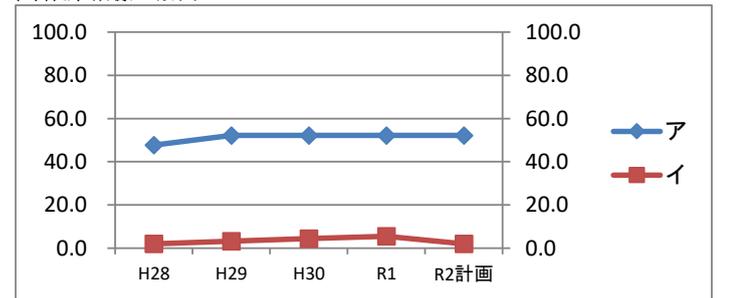
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動) ・干潟地区配水管布設替工事(水管橋) L=32.7m ・西足洗道路整備事業に伴う配水管切廻し工事 L=8.3m ・干潟配水場 高区配水流量計更新 一式 他、漏水修繕及び配水設備等の修繕	ア 配水池耐震化工事	件	1	1	1	0	0
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 漏水管修繕及び老朽管更新工事	件	14	15	29	48	18
	対象 配水エリアの水道使用者 意図 配水池の適正な容量を確保するとともに、耐震化を図ることにより水の安定供給を確保する 対象 水道使用者 意図 老朽管を耐震管へ布設替えることにより、漏水等の防止を図り水の安定供給を確保する	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
		ア 配水池耐震化率	%	47.7	52.2	52.2	52.2	52.2
		イ 漏水率	%	2.0	3.3	4.4	5.5	2.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	コスト比率 下位 1/3
	普通	ある程度ある	中位 1/3
	小さい	ほとんどない	上位 1/3
	⑤	①	(11)
		②	
		③	
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イのタイプ
【コメント】 (低下の場合、その理由)	
③ 今年度取組事項 (2年度に取り組む主な事項について記載)	時期 令和3年2月 内容 飯岡配水場 高区圧カタンク更新
今後の方向性	令和3年2月 飯岡配水場 高区圧カタンク更新